



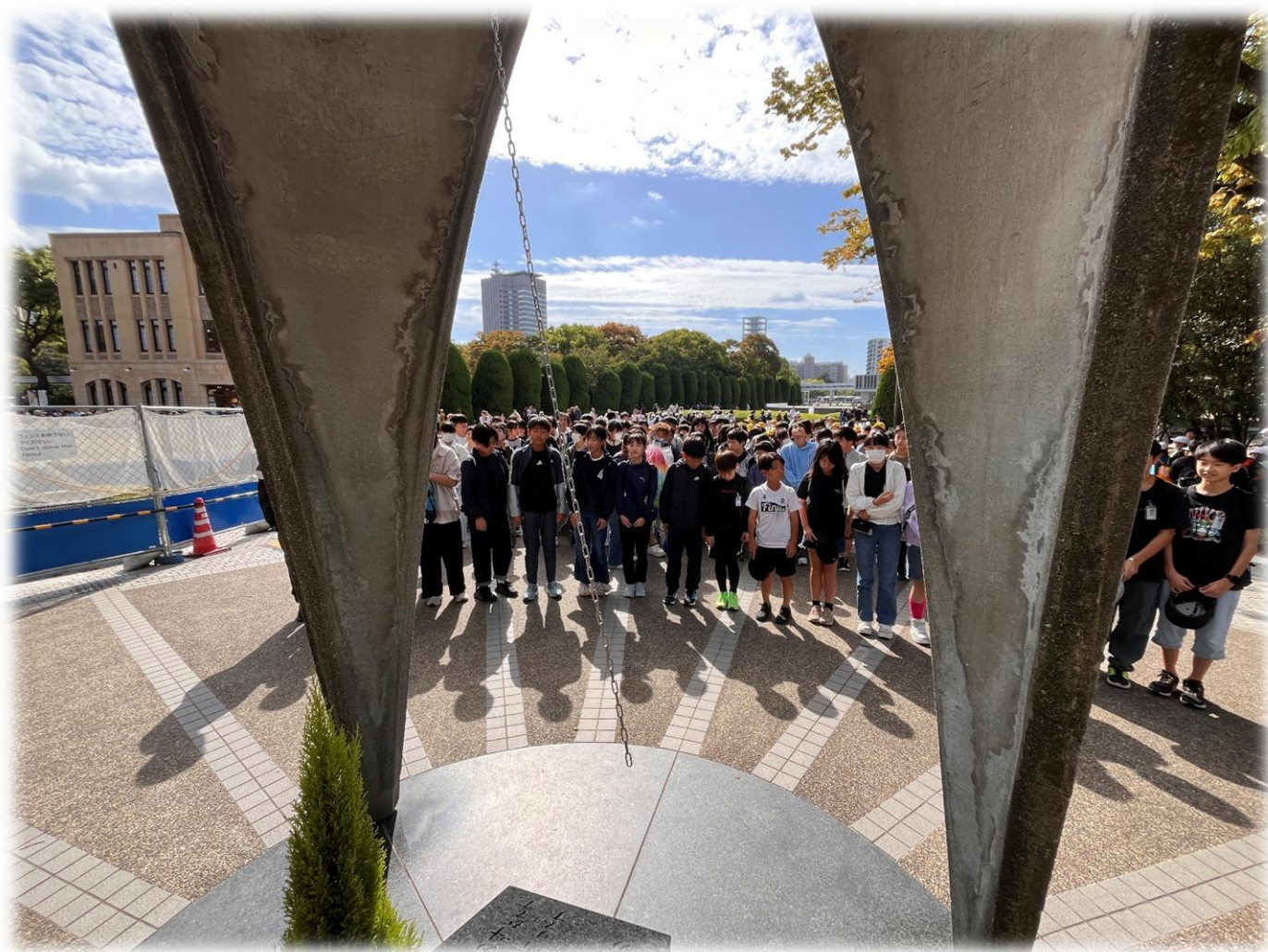
あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

10.30 NO-28

想いを伝える平和集会(6年生修学旅行)！



10月22日(木)、6年生は修学旅行で平和公園を訪れ、原爆の子の像の前で平和集会を行いました。集会では、子どもたち一人ひとりの思いが込められた言葉(裏面参照)が会場周辺に響きわたり、全員で声を合わせて発した言葉は、周囲のビルに反響するほどでした。

多くの観光客が見守る中、代表児童の第一声が力強く響きました。その言葉に続き、子どもたちは平和への願いを込めた言葉を、自信をもって次々と発表しました。そんな子どもたちの姿に、思わず目頭が熱くなりました。

言葉の発表の後には、全員で「アオギリの木の下で」を歌い、代表児童2名が千羽鶴を献呈しました。

集会の様子を見守っていた観光客の中には、感動して涙を流される方もいらっしゃいました。10分足らずの集会でしたが、「平和を願い、次の世代へ平和の大切さを伝える」という平和集会の目的を見事に体現した、心に残るすてきな集会となりました。

令和8年度平和集会のことば

○代表児童 ●全員

○今から、山口県宇部市立上宇部小学校の平和集会を始めます。気をつけ、礼。

○誓いの言葉

○1945年、8月6日、午前8時15分。一発の原子爆弾が広島に落とされました。

○一瞬で、約7万人もの命が奪われました。

○原爆が落とされた一瞬だけではなく、その後の何十年間も放射線による後遺症で、
たくさんの人々が苦しめられています。

○第二次世界大戦では、世界各国で約8000万人の命が奪われました。

○私たちは、この戦争の悲惨さ、恐ろしさを、絶対に忘れません。

●絶対に忘れません。

○日本は世界で唯一原爆が落とされた国です。

○核を持たない。

○核を作らない。

○核を持ち込ませない。

○日本では、非核三原則が掲げられており、多くの被害を出した核兵器をなくすこと
を訴え続けています。

○それでも、まだ、世界にはたくさんの核兵器が存在しています。

○私たちは、自分の利益と幸福だけを考えて、他国のことを忘れるようなことがあって
はならないと強く、強く思っています。

○多くの被害を出した核兵器のことを決して許してはいけません。

●決して許してはいけません。

○私たちは、世界がいつまでも平和であることを心から願っています。

○平和を愛する人々と協力し、安心して生きることのできる世界をつくっていきたいと
思います。

(1組) もっと戦争や原爆について学んでいきます。

(2組) 戦争、原爆の恐ろしさをたくさんの人に伝えていきます。

(3組) 被爆された方の思いを忘れず、次の世代につないでいきます。

○戦争のない世界をめざすために、私たち一人ひとりができることです。

○私たちは二度と戦争をしないという強い気持ちをもち続けることを誓います。

●誓います。

○2026年10月22日 山口県宇部市立上宇部小学校6年一同